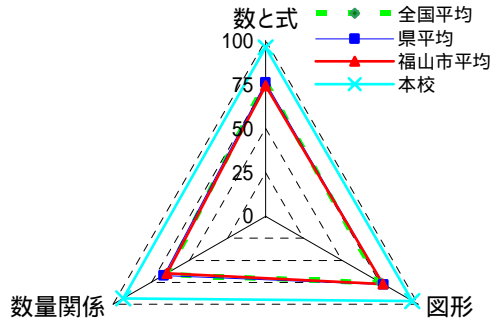


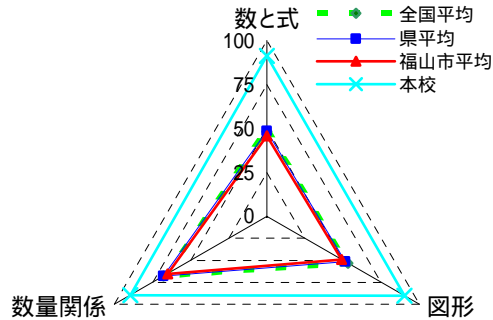
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均 71.9% 県平均 73.3%  
 福山市平均 71.9% 学校平均 95.3%



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均 60.6% 県平均 60.6%  
 福山市平均 57.6% 学校平均 90.0%



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

確かな学力を育むための授業改善をめざして、問題を分析して出題趣旨をつかみ、どのような指導が必要であるか研修し、具体的な授業改善の検討を行った。

重点課題（：全国学力・学習状況調査）

- ・・・(A問題) 確率の意味について理解しているかをみる問題については、76.1%の通過率であり、確率が日常的な事象では確定的なことを表す値でないことが理解できていない。
- ・・・(B問題) 情報を分類整理し適切に選択し、判断する問題については、76.1%の通過率であり、与えられた情報を2つの異なる条件に基づいて分類整理し、組合せを選択することに課題がある。
- ・・・(B問題) グラフ上の点の並び方を理想化・単純化してとらえる問題については、62.4%の通過率であり、一次関数とみなしてグラフの特徴をみることに課題がある。

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

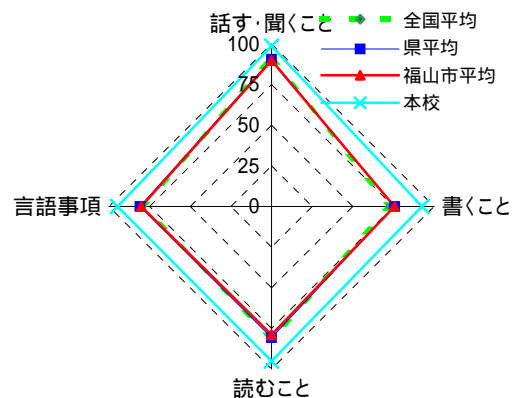
確率・図形領域において、実際に多数回繰り返す実験や操作活動を取り入れているが、班活動や全体への演示実験で終わっていることがある。今後は個人または少人数による実験などを行い一人一人の体験を増やす授業を行う。

日常的な場面や数学以外の教科の学習において、数量の関係を理想化したり、実際のデータを単純化したりして、数学的な表現・処理をすることはできている。しかし、それを用いて関係の特徴を明らかにし、わかりやすく説明する力が不足しているので、気づきや友人の考えとの比較など文章化し、発表していく授業を継続して行う。

国 語

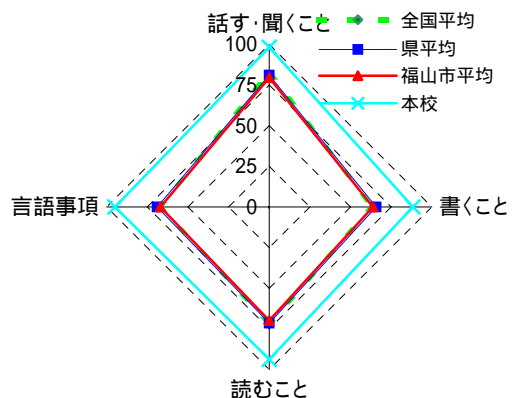
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均	81.6 %	県平均	82.4 %
福山市平均	81.6 %	学校平均	95.4 %



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均	72.0 %	県平均	72.0 %
福山市平均	71.0 %	学校平均	94.0 %



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

確かな学力を育むための授業改善をめざして、問題を分析して出題趣旨をつかみ、どのような指導が必要であるか研修し、具体的な授業改善策の検討を行った。

重点課題（ : 全国学力・学習状況調査）

B問題の「広告カードを比較し、違いを説明する」という設問の通過率（70.9%）が低かった。3割の生徒の誤答の原因は、資料に表れているものの見方や考え方を正しく読み取れなかったことや自分の考えを明確に正しい文で表現できなかったことにあると考えられる。

次に通過率が低かったのは、A問題の「『本をかす』の漢字を書く」という設問（79.5%）であった。間違った2割の生徒は、語句の意味が正確に理解できず、文脈の中で適切に使うことができなかったと考えられる。

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

文章や資料に表れているものの見方や考え方を正確に読み取れるようにするため、普段から教科書の文章だけでなく、関連するさまざまな文章や資料を用い、正確に読み取り、自分の考えをまとめて適切に表現する学習を継続して行う。

間違いやすい漢字・語句の読み書き学習を定期的に行う。